



若穂の秋 スポーツ・文化に親しもう！

住民自治協議会会長 綿内 剛美
(写真は以前の太郎山トレッキング)

抜けるような青空の下、いま若穂ではスポーツ・文化的行事がめじろ押しです。この号がでる頃にはすでに市民運動会(12日)、太郎山トレッキング大会(18日)、人権市民集会(講演会等、24日)が終了し、多くの方が楽しむと共に郷土の良さを感じ取って下さったのではないかと思います。

地域行事などに「参加する」ということは、自分自身がそのことを楽しんだり、向上させたりすることは勿論ですが、「地域を知る」「地域の人を知る」そして「郷土に親しみ愛着を持つ」上でとても大切なことと思います。

今後、11/1日「とびっくラン」、1～3日文化祭、1～14日菊花展、23日将棋大会などが開催されます。参加には出場・出展・応援・ボランティア・鑑賞などいろいろな方法があります。どんな形の参加でも大歓迎ですので、ぜひ足を運んでいただき「若穂の秋」を満喫していただけたらと思います。

保科温泉線バスや少子化と教育、スマートIC・道の駅など、市長に多くの若穂の声

来年4月からの保科温泉線運行については、アンケート結果を受けて市長あて要望書を提出

活
き
生
き
若
穂
み
ん
な
で
ト
ー
ク

●今年も市長の出席をえて、9月29日に若穂支所で『活き生き若穂みんなでトーク』を開催(担当は区長会)。区長や団体代表など約130名が出席しました。自治協として提出した議題は3点で、保科温泉線バスについては中村謙一保科区長会長が、少子化と学校教育については伊藤公正事務局次長が、スマートIC及び道の駅については橋本敦事務局次長が代表発言。限られた時間の中で議題関連や、その他の件について多くの意見が出されました。

●来年4月からの運行形態が決まっていない保科温泉線については、市川企画政策部長が「スピード感、スケジュール感をもって検討」したいと答えましたが、11月に予定されている市地域公共交通会議(ここで方向が決まる?)まではあと僅か……。

●自治協は8月におこなったアンケート(保科・川田・綿内田中区)の結果を受けて、9月18日に要望書を提出。その内容(概要)は

- ①前提条件として「保科温泉(起点)から長野駅(終点)まで乗り継ぎなしで行けること」
- ②要望案として

案1:「現行ルートを維持する」(アルピコ交通日赤線との競合部分は降車のみでクリヤする)

案2:「アルピコ交通日赤線を保科温泉まで延長する」

また、赤字路線が他にもある中で「他地域との公平性の確保」を、中学3年生の進路選択との関係で「決定時期については影響が出ないよう配慮」を求めました。市(交通政策課)は、10月21日の自治協理事会において新たな「運行案」を提示する予定です。



(この記事は10月19日時点)

今年もJAがビッグな”おもてなし”

《第4回ながのとびっくラン in わかほ》

1歳から91歳まで、1700名を超える参加申し込みがあった今年の「とびっくラン」(11月1日)。実行委員会をはじめ関係者のご努力、地域の皆さんや協賛企業のご支援・ご協力です。JAグリーン長野(竹内守雄組合長)からは協賛金、しめじ(1700袋)・りんご(18K-6ケース)・ぶどう(5k-5ケース)・特別賞のりんごやきのこセット・アンパンマンキズバン(150)・JAブースでのきのこ汁、トッカンTMの無料配布と今年もプレゼントがいっぱい！プレゼントは、10月19日に渡邊健夫若穂地区代表役員から綿内剛美大会長に贈呈されました。大会の盛り上がりとともに、地元製品のPRにもつながりました。



安協若穂(青年部)が「シートベルト着用調査」

◆調査は安協若穂支部(安藤博康支部長)が毎年実施しているもので、今年は8月10日、落合橋南詰交差点(5差路)で7:00~7:25の間。

◆方面別の着用率は「綿内方面から」が98.7%、「保科方面から」が98.3%、「牛島方面から」が100.0%、「松代方面から」が97.8%、「大豆島方面から」が93.8%で、平均は96.8%。3.2%も未着用(法律違反！)でした。◆過去5年間の推移(平均)は23年度が96.0%、24年度が93.5%、25年度が97.2%、26年度が95.9%となっています。シートベルトは運転者、同乗者の命を守るもの。若穂は着用100%を目指しましょう。

3.2%も未着用！

11月は『文化の秋 わかほウィーク』

《若穂文化祭》【各会場】

●作品展示(若穂公民館)

11月1日(日) 午後1時~午後5時
2日(月) 午前9時~午後5時
3日(火) 午前9時~午前12時

●演奏会(若穂支所2階ホール)

3日(火) 午後1時~3時50分

●野菜市(若穂支所駐車場)

3日(火) 午前10時~午後3時

《こどもまつり》【若穂支所2階】

7日(土) 午後1時~午後4時

9月13日の長野市議選 若穂の投票率は？

全体の投票率は前回は4.23下回る42.09%でした。若穂地区(4投票所平均)は47.90%と全体を上回りましたが、前回比では6.03の大幅ダウン。課題が残ります。ちなみに最高投票率は中条地区の75.77%、最低は長野地区(旧市部)の39.46%です。(市選挙管理委員会のデータから)

若穂のまちづくりで、新たに委員会を設置

若穂をどんな「まち」にしたい？！自治協は中期のまちづくり計画を策定するため、「まちづくり策定委員会」の初会議を10月28日に開きました。下部組織として、すでに3地区ごとに未来会議がスタートし取り組みが進められています。

この秋も、路線バスの企画で保科温泉線存続をアピールします！

モミジの清水寺や保科温泉をコースとした“紅葉の保科郷で健康ウォーク”…。昨年の大好評を受けて、わかほ塾とバス対策PJが清水寺、㈱オーエンスのご協力のもとに11月20日(金)に実施します。若穂外の方が対象です。

はぜかけ…処変われば…

コンバインも普及していますが、「はぜかけ米」も見直されています。家族揃っ



ての農作業風景はほのぼのの感じっばいですね。写真は、左から「若穂」「若穂」「山形地方」「木曾」で撮影したものです。